

久留米大学 入試 ガイダンス

発行日 平成 25 年 1 月
久留米工業大学 入試広報課
久留米市上津町 2228-66
TEL (0942)22-2345 (代表)
FAX (0942)21-8770
<http://www.kurume-it.ac.jp>

第16号

トピックス

大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト 「九州経済連合会長賞」受賞！

情報ネットワーク工学学科の高橋研究室の5名の学生(江里口潤信君：三井高校出身、兼島公平君：沖縄工業高校出身、小川景子さん：三潴高校出身、大石一輝君：三養基高校出身、三浦広之君：龍谷高校出身 いずれも4年)が第12回大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテストに挑戦し、今年は見事「九州経済連合会長賞」を受賞しました！

エントリーテーマは、「個別学習プラン提示方式による語彙学習アプリの開発・販売事業」。このコンテストは、起業を目指す九州内の学生研究者を対象とした事業化に向け具体性のあるビジネスプランニングを競うもので、日常生活の周りにおけるアイデアをヒントにした課題解決事業や大学で研究されている技術シーズを活用した事業などをプレゼンテーションし、その事業化に向けての具体性などが評価されます。今年も九州地区の大学から55チームが参加、12月14日(金)福岡市役所において行われた最終選考では、2次審査をクリアした7組の大学、大学院(鹿児島大学大学院、熊本県立大学、九州大学、佐賀大学大学院、大分大学(2チーム)、本学)の学生が、プレゼンテーションを行いました。本学チームが受賞した「九州経済連合会長賞」は、グランプリ、「九州産業経済局長賞」に続く栄誉です。特にIT関連の企業経営者の方々からは、本発表テーマに対して高い評価を頂戴しました。発表



ロボメカデザインコンペ 2012 1次審査通過！

本学機械システム工学学科「チーム釣名人」(代表：2年 小林恭介君(延岡星雲高校)、2年 河野敬介君(川棚高校)、2年 新留公樹君(加世田高校)、4年松崎和也君(高稜高校)、情報ネットワーク工学学科3年 佐々野稔貴君(久留米学園高校)、指導：機械システム工学学科 白石教授)の「Sea guide」が、機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門主催の「フューチャードリーム！ロボメカ・デザインコンペ 2012」の1次審査を無事通過しました。今年も、本学から2チームがエントリーしていましたが、小林君の「Sea guide」が2次審査進出チームに選ばれました。2次審査進出は、今年で5年連続となります。

エントリーした12チーム中、最終審査(2次審査)に進んだのは本学を含む5チームです。2次審査は、12月8日土曜日に福岡のロボットスクエアで行われ、残念ながらグランプリはのがしたものの、そのアイデアは、高く評価されました。



学生の声

機械システム工学科3年 淵上 貴之 (浮羽工業高校)

佐賀県鳥栖市にて開催された冬の祭典「ハートライトフェスタ2012」に作品を出展しました。今年は「磨(みがく)」がテーマとなっていたため、私たち加工プロジェクトは「技術を磨く」ということで出展作品を製作することとなりましたが、廃材を「磨いて」新しいものをつくりだすことがエゴにもつながるといってもアピールしています。

久留米市がカップをモチーフとしているため、作品にもカップを登場させています。作品のメインはクリスマスツリーで、その前で2体のカップが久工大のロゴを掲げています。さらに作品と一緒に遊んでもらおうという発想で、カップのお皿に手をかざすと、光が点灯して音楽が流れるという細工が隠されています。多くの人々に作品を見ていただき、楽しんで頂ければ幸いです。



交通機械工学科2年 高柳 和貴 (佐賀北高校)

私たちは、毎年9月に開催される全日本学生フォーミュラ大会に向けて車両を日々設計、製作している久留米工業大学フォーミュラプロジェクトです。大会では、ただ単に車両を走らせ、タイムを競うだけでなく、車両を生産するという想定をした費用の計算や、車両を実際に販売するという想定をしたプレゼンテーションを行うなどの静的な審査もあります。現在は、来年度の大会に向けて車両を設計・製作しています。来年度の車両は、今年達成する事ができなかった、車両重量200kg以下、ステアリング・ラックの形状を変更、サスペンションを変更する事で、操作性の向上を目指しています。また、今年うまくいかなかった静的審査にも力を入れて、今回の26位という総合順位からジャンプアップしたいと思います！



建築・設備工学科2年 高木 賢典 (京都高校)

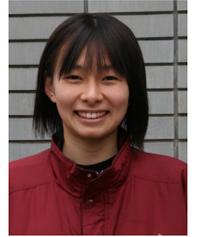
八女福島の町並み建築に興味を持ったのは大学の講義がきっかけでした。実際にどういう風に修理をやっているのか気になり、八女福島に行き町家の中の状態や実際に町家を修理している様子を見学してもらいました。市役所職員や建築士の方に話を聞くうちに塗装の仕方、建物の構造などを昔の状態に復元することは大変高度な技術が必要だということがわかりました。町並みを保存することは文化を継承することです。しかし、まだ使われていない、修理がされていない町家が残っています。その町家をどうするかを自分なりに考えて、これからも八女福島の町並みについていろいろ調べていこうと思います。



情報ネットワーク工学科3年 草牧 すずか (大分鶴崎高校)

大学に入って3年目。いよいよ本格的に就職活動が始まりました。早速12月の1、2日にYahooドームで行われた合同企業説明会に参加しました。

初めてのことで、最初はその雰囲気にも圧倒されましたが、それと同時に頑張らなくては！と気持ちも引き締まりました。たくさんの企業の方に話を聞いて、実際に自分が働きたい企業も決まりました。今まで具体的な目標もなく、就活と言われても実感できなかった私ですが、今回の説明会に参加して改めて自分の将来を考えることができました。これから、本格的な就職活動に入り、大変なことやつらいこともあると思いますが目標に向かってしっかりと努力していきたいと思っています。



教育創造工学科3年 田中 友香里 (諫早高校)

私は、『倫導』というボランティアのグループで活動しています。中学・高校と部活などをしていなかったから大学では何かやりたいと思っていたところ2年になる直前、東日本の震災が起こり募金活動をやらうと声をかけられたのがきっかけです。その後、ボランティアの団体を作るから参加しないかと誘われて立ち上げから参加しました。1年から4年まで様々な学生が参加しているのでグループ内での上下関係やいろんな考え方を聞くことができ、とても勉強になりました。

活動内容としては、星野村のキャンパススタッフの手伝いや上津小校区の町内の方と清掃活動を行ったり、警察と連携して痴漢防止の呼びかけなども行いました。

7月に発生した北九州北部豪雨による被害のボランティアも本学の学生が主体となって近隣の中高生と毎週、出かけて土砂の運び出しなども行います。大変ですがやりがいがあります。このボランティアで経験したことをいつか活かせるといいなと思います。

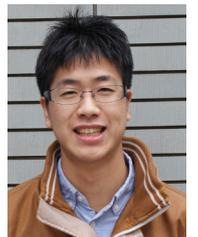


就職内定者の声

宇部情報システム

情報ネットワーク工学科4年 香月 孝太 (福岡常葉高校)

私は就職活動初期から、ソフトウェア、情報処理の業界での就職を希望し活動を始めました。合同説明会では、多くの企業のブースを回り、人事担当の方に話を伺ったり活発に行動しました。年明けからは、ひたすら単独の企業説明会に参加しては説明会から1次の筆記試験、帰宅後は次の企業を探し、履歴書の作成と文字通り休む暇もありませんでした。初期の面接では、ひたすら緊張し、伝えなかったことを伝えられないということが多く後で思うと悔しいです。



しかし、回数を重ねるにつれて面接官とのコミュニケーションの取り方や、質問に対する回答を改善することができ、結果、この就職難といわれている中で、3社から内定を頂くことができました。

これから就職活動をする皆さん、自己分析や面接で悩むことが多くなってくるとは思いますが、そこで頑張ることが先の内定やその先の活力になっていくと思います。頑張ってください！！

松尾建設株式会社

建築・設備工学科4年 末次 佑次 (鳥栖工業高校)

僕は鳥栖工業高校の建築科出身なのですが、高卒の就職先としては工場か建築ではない業種などの進路しかなく、できれば建築に関連する仕事に就きたいと考えて進学することに決めました。

大学では、アルバイトや部活など色々な経験をしましたがここで身につけたコミュニケーション力や授業の中で行った自己分析などは、就活でとても役に立ちました。

松尾建設の説明会は、最初建築・設備工学科対象のエクステンションセミナーの一環として大学で行われました。その後、通常の会社説明会などに参加し、最終面接を受けて内定をいただきました。

僕自身は、就活を4月から始めましたが、実際何度か面接などを受けて最初は、うまく受け答えができなかったりしたので後になって考えるともっと早く動き始めればよかったと思いました。松尾建設では、大学4年間で勉強した「設備」の分野で、自分の取柄の明るさとコミュニケーション力を生かした仕事をしたいと考えています。



教員内定者の声

交通機械工学科4年 後藤 章文 (竹田高校)

私はこの度『大分高校』に教員として内定が決まりました。

就職活動を終え思ったことはただ一つ、“大学生活をいかに充実させることが出来るか”だと思います。私はこの4年間『学生フォーミュラプロジェクト』『学生ラリープロジェクト』に所属し、寝る暇も惜しんで様々な活動に取り組んできました。特に夏場は大会準備に追われ徹夜を続けるなど、決して楽なものではありませんでした。しかし、この苦勞が就職活動において強い味方になったのは言うまでもありません。

内定を頂いたとは言え、まだまだ卒業まで数ヶ月残っています。残りの数ヶ月、まだまだやり残したことがあるので最後の最後まで悔いの残らないよう充実した学生生活を送りたいと思います。



学生の活動

学生ドリフト第4代東西統一戦王者

大学院 エネルギーシステム工学専攻1年 大久保 喬史

「学生限定」のドリフトイベント「全日本学生ドリフト王者決定戦」に参戦した本学自動車部、大学院1年の大久保喬史くんが、王者の栄誉を手に入れました。知る人ぞ知る「学ドリ」、同じ年代、同じ境遇、毎年8月に開催される「学生限定」のドリフトイベントです。学生の身分で車を所有する大変さ、ガソリン代、タイヤ代、改造費、練習代など……。そもそも免許を取るのだって安くはないし、維持するのは大変。だから参加する者の中には不思議な共有感覚が生まれ、学生であるという「期間限定」の中での戦いは熱くならざるを得ない状況なのかもしれません。この大会、前年度は、準優勝に甘んじた大久保くん、大学院1年生の崖っぷちでいよいよ王者となりました。今後は、OBとしてこの大会にかかわっていきたくて語ってくれました。大久保君の記事は、「学ドリ」専門誌に1年にわたって連載されるそうです。



研究室紹介

味覚センサー

情報ネットワーク工学科 江藤 信一 准教授

江藤研究室では、味覚センサーを使って得られた食品の味データ、味の数値情報をもとに「おいしさ」についての研究をしています。味覚センサーは、食品の味を酸味・苦味・甘味・塩味・うま味などの味を質と強さで表現することのできる装置として誕生しました。しかし、これはあくまで「味の強さ・特徴」であり、「おいしい」ではありません。本研究室では、味の数値情報とそのほかの要素（香り、触感、見た目など）情報との組み合わせにより「おいしい」を客観的に表現することを目指し、そして個人で異なる「おいしさ」の仕組み・関係性をあきらかにしていきたいと思っています。新しい「情報」を駆使して、おいしい研究を行なっています。



久留米大学からのお知らせ

野球部 HP 開設！

このたび、大学ホームページ内に「硬式野球部」のページを開設しました。チームのスケジュールや試合の結果などを速報で掲載しています。本学硬式野球部は、九州地区大学野球連盟に所属し活動を行っています。部員全員が野球に対し向上心を持ち、思いやりの心を持っているチームワークの良いクラブです。野球を通じ「将来、社会の先導者となれるべく資質を身につける事」及び「野球に関する高い技術・知識・体力・精神力を身につける事」を目的として日々活動しています。ぜひ、ホームページをご覧ください。



新入生奨学金（スカラシップ）制度

久留米工業大学では、新入生の学ぶ意欲をサポートするため、入学試験毎に奨学金制度（スカラシップ制度）を設けています。詳細は、ホームページ等でご確認下さい。

スマートフォン対応モバイルサイト

久留米工業大学のモバイルサイト（携帯版）からも資料請求ができます。右のQRコードからアクセスしてご覧ください。



入試日程

推薦入試

■ 後期推薦入試（併願）

出願期間	1月7日（月）～1月18日（金）
試験日	1月23日（水）
合格発表	1月25日（金）
試験地	本学

一般入試

■ 前期一般入試

出願期間	1月7日（月）～1月28日（月）
試験日	2月2日（土）・2月3日（日）
	└─ 試験日自由選択制 ─┘
合格発表	2月15日（金）

試験地	2月2日	福岡・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・那覇・松山・広島
	2月3日	本学のみ

■ 中期一般入試

出願期間	2月18日（月）～3月6日（水）
試験日	3月8日（金）
合格発表	3月13日（水）
試験地	本学

■ 後期一般入試

出願期間	3月13日（水）～3月19日（火）
試験日	3月22日（金）
合格発表	3月23日（土）
試験地	本学

センター利用入試

■ センター利用前期入試

出願期間	1月7日（月）～2月6日（水）
合格発表	2月15日（金）

■ センター利用中期入試

出願期間	2月18日（月）～3月5日（火）
合格発表	3月11日（月）

■ センター利用後期入試

出願期間	3月12日（火）～3月19日（火）
合格発表	3月23日（土）

※ 本学独自の試験は実施しません。

AO（アドミッションズ・オフィス）入試

エントリー申込期間	現在受付中～3月22日（金）
出願日・面接日	エントリー受付後、相談により出願日程・面接日を決定します。
合格発表	面接試験終了後後日通知
試験地	本学